

第五十六回帝國議會
衆議院

國寶保存法案委員會會議錄(速記)第四回

付託議案
國寶保存法案(政府提出)

會議

昭和四年二月二十六日(火曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山下 谷次君

理事 松尾 四郎君

理事 眞鍋 勝君

川島正次郎君 福井 甚三君

川崎 克君 村松恒一郎君

武藤 山治君

同日委員伊藤仁太郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ川島正次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席政府委員左ノ如シ

文部省事務次官 山崎達之輔君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

文部省囑託 荻野仲三郎君

文部省囑託 關野 貞君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

國寶保存法案(政府提出)

○山下委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス、御質問ハゴザイマセスカ

○武藤委員 私ハ政府委員ニ御尋シタイコトガアリマス、政府委員ハ國寶ノ保存ト云フコトニ付テ大變誤ッテ居リハセヌカト思フノハ、國寶ノ中ニハ必シモ繪畫ト云フ物バカリデナク、保護建造物ト云フモノガアル、日本ノ保

護建造物ト云フモノハ石造ヤ煉瓦デハナクシテ木造ガ多イ、此木造建造物ノ保存ト云フコトヲ政府ハドウ云フ風ニ解釋シテ居ラレルカ、唯傷ンデ來タカラ之ヲ修繕スルト云フ風ニ解釋セラレテ居ルガ、吾々ハサウ云フコトデハ決シテ保存ハ出來ナイト思フ、防火裝置ト云フモノハ此木造建造物ヲ保存スル上ニ於テ必要デアルト思フ、所ガ今日マデ一體文部省ハ何ウシテ居ッタカ、千何百年ノ法隆寺ノアノ世界的ニ誇ルベキ推古時代ノ建物ニ對シテ、何等防火裝置ヲスルコトヲシナカッタデハナイカ、漸ク是ガ世ノ中ノ問題トナツテ、サウシテ昨年相當ニ是モ防火裝置ガ出來タト云フ譯デアアル、其他ニ保護建造物デ防火裝置ガ出來テ居ルモノハ一ツモナイ、是ハ實ニ急務中ノ急務デアアル、建物ハ木製デアアルシ、而モ多クハ邊鄙ナ處ニ在ル、山ノ中ニ在ルヤウナ保護建造物ヲ、其處ニ行ッテ乞食ガ火ヲ焚イテ燒ケタラソレマデダ、又現實ニ於テ燒ケテ居ル、ソレハ國寶ノ保存ト云フモノヲ唯修繕スレバ宜イノダ、サウシテ四十萬カ五十萬ノ金ガアレバ此貴イ建造物ガ保存サレル、サウ云フコトハ決シテ私ハ保存ト云フコトノ意義ヲ完ウシテ居ルモノデハナイト思ヒマス、政府委員ハドウ御考ニナリマスカ、私ハ

護建造物ト云フモノハ石造ヤ煉瓦デハナクシテ木造ガ多イ、此木造建造物ノ保存ト云フコトヲ政府ハドウ云フ風ニ解釋シテ居ラレルカ、唯傷ンデ來タカラ之ヲ修繕スルト云フ風ニ解釋セラレテ居ルガ、吾々ハサウ云フコトデハ決シテ保存ハ出來ナイト思フ、防火裝置ト云フモノハ此木造建造物ヲ保存スル上ニ於テ必要デアルト思フ、所ガ今日マデ一體文部省ハ何ウシテ居ッタカ、千何百年ノ法隆寺ノアノ世界的ニ誇ルベキ推古時代ノ建物ニ對シテ、何等防火裝置ヲスルコトヲシナカッタデハナイカ、漸ク是ガ世ノ中ノ問題トナツテ、サウシテ昨年相當ニ是モ防火裝置ガ出來タト云フ譯デアアル、其他ニ保護建造物デ防火裝置ガ出來テ居ルモノハ一ツモナイ、是ハ實ニ急務中ノ急務デアアル、建物ハ木製デアアルシ、而モ多クハ邊鄙ナ處ニ在ル、山ノ中ニ在ルヤウナ保護建造物ヲ、其處ニ行ッテ乞食ガ火ヲ焚イテ燒ケタラソレマデダ、又現實ニ於テ燒ケテ居ル、ソレハ國寶ノ保存ト云フモノヲ唯修繕スレバ宜イノダ、サウシテ四十萬カ五十萬ノ金ガアレバ此貴イ建造物ガ保存サレル、サウ云フコトハ決シテ私ハ保存ト云フコトノ意義ヲ完ウシテ居ルモノデハナイト思ヒマス、政府委員ハドウ御考ニナリマスカ、私ハ

是等ノ點ニ付テ無論文部省ノ斯ウ云フ國寶ノ保存ニ當ッテ居ラレル方々ハ、サウ云フ點ニ十分費用ヲ得ラレナカッタト云フコトヲ遺憾トシテ居ラレルダラウト思フ、ソレデ此點ヲ御質問申上ゲルト同時ニ、若シ皆サンノ御同意ヲ得ルナラバ、私ハ本案ガ委員會ヲ通過スル場合ニ希望條件ヲ付シタイ、斯ウ云フ貴イ保護建造物ノ防火設備ヲシテ貰ヒタイ、サウシテ政府ハ其費用ヲ次ノ議會ニ提出サレタイ、斯ウ云フ意味ノコトハ川崎サンモ、皆サンモ、御同意下サルナラバ、希望條件ヲ付ケタイト思フ、此點ニ付テ政府委員ノ御意見ヲ一ツ伺ヒタイ

○山崎政府委員 洵ニ御尤ナ御意見デアリマシテ、今日マデ防火設備ニ付キマシテハ御話ノ通り、法隆寺ノ建物ニ付テ、隨分以前カラヤカマシイ議論ニナリマシテ、漸ク防火設備ガ完成致シタヤウナコトデアリマス、其他ノ建物ニ付キマシテハ、マダ其連ビニ至ッテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマスガ、其點ニ付キマシテハ、保護建造物ノ主任ヲシテ居リマス關野博士カラ、御説明申上ゲマス

○關野文部囑託 只今御質問ニナリマシタコトハ、洵ニ御尤ノコトデアリマシテ、當局ニ於テモ始終サウ云フコトハ心配ハ致シテ居リマシタノデスガ、何分從來保存費ガ十分デアリマセヌデシタカラ、唯建物ノ修繕ト云フ方ニ專ラ力ヲ入レルダケデアッテ、防火設備ト云フコトニ力ヲ十分ニ致スコトガ出來ナカッタノデ、是ハ始終遺憾ニ存ジテ居リマシタ、貴重ナ建物ハ澤山アリマスガ、法隆寺ヲ先ツ第一着トシテ、アノ方ノ防火設備ヲ十分ニ施シマシタ、ソレカラ善光寺ノ本堂ガ丁度修繕ガ出來マシタガ、是モ修繕ノ際ニ十分ノ防火設備ガ出來マシタ、ソレカラ東大寺ノ大佛殿モ修繕ノ際ニ、マダ奈良市ニ水道ガ出來ナカッタ頃デアリマシタガ、將來水道ガ出來ルト云フ見込ガ着キマシタノデ、修繕中ニ全部鐵管ヲ通シテ防火設備ヲ完成致シマシタ、サウ云フ風ニ相當出來ル機會ガアレバ、サウ云フ點ニ付テハ多少ノ考慮ヲ拂ッテ居ッタノデアリマスガ、其他ニ付テハマダ其處マデ經費ノ都合上、十分ニ防火設備ヲ施スコトガ出來ナカッタノデスガ、將來ハ成ベクサウ云フ風ニシタイト希望致シテ居リマス

○川崎委員 防火設備ヲシテ居ル狀態ヲ、一寸簡單ニ御伺シタイト思ヒマス

○關野文部囑託 法隆寺ノ方デ見マスルト、法隆寺ノ裏山、丁度數十町アル所

ニ大キナ溜池ヲ造リマシタ、ソレカラ鐵管デズット其水ヲ引イテ參リマシテ、サウシテ法隆寺ノ只今ノ境内全部、本堂ヤ夢殿ノアリマス方面ニ全部鐵管ヲ引キマシタ、サウシテ諸方ニ消火線ヲ引イテ、大事ノ時ニハ「ホース」ヲ附ケテ水ヲ出スコトニナリマシタ、丁度竣工シマシタ際ニ試験ヲシタ所ガ、其水先ハ法隆寺ノ五重塔ノ九輪ノ頂上ヲ越スノデス、露盤マデト云フ計畫デアッタノデスガ實際ニ於テ五重塔ノ九輪ノ上マデ越スヤウニナリマシタ、尙法隆寺ノ境内ノ周圍六十尺ハ「ホース」ヲ附ケテ十分ニ放水スルコトガ出來ルコトニナリマシタノデ、今法隆寺ノ村デモ非常ニ喜ンデ居ルヤウナ譯ナノデゴザイマス、ソレカラ大佛殿ノ方デスガ、大佛殿ノ方ハ丁度水道ノ出來ル前ニ總テ設備ヲシテ置キマシタノデ、近年水道ガ出來マシタノデ、ソレニ連結シマシテ、是ハ建物ノ内部カラ屋根裏全部鐵管ヲ廻シテアリマスノデ、何處カラデモ水ガ出ルヤウナ方法ニナッテ居リマス、ソレカラ善光寺ノ方モ大體サウ云フヤウナ方針デゴザイマシテ、善光寺ノ方ハ建物ガ二重ニナッテ居リマスガ、二重ノ組物ノ下ノ方面デス、其方面ニモズット鐵管ヲ廻シテ、萬一ノ際ニハ何處カラデモ水ガ出ルノデス、火災ノ際ニハ水ヲ噴出ス、軒先全部周圍カラ水ヲ噴出スヤウナ仕掛ニナッテ居リマス、保護建造物デ防火設備ヲ施シタノハ其三ツダ

ケデス、ソレカラモウ一ツ申上ゲテ置キマスガ、近年修繕ガ出來マシタ吉野ノ藏王堂デゴザイマスガ、アレモ防火設備ガ出來マシタノデアリマス、吉野ノ町ニ水道ヲ引キマスニ付テ、ソレニ連結シマシテ防火設備ヲシテ居リマス、ソレガ出來マシタノデ丁度四ツデゴザイマス、其他ハマダソコ迄及ビマセヌ、ソレカラ尙雷火ト云フモノガ火災ニ非常ニ關係ガアリマシテ、高い三重トカ、五重トカ云フヤウナ建物ハ、多ク雷火ノ爲ニ燒ケルヤウデス、昔カラノ記録ヲ見マスト塔ハ單獨ニ離レテ居ルモノデスカラ、自火ハ殆ドアリマセヌ、燒ケルノハ多ク雷火デス、ソレデサウ云フ塔ハ多ク避雷針ヲ設ケマシタ、ソレカラ尙又保護建造物ガ市内ニアリマシテ、其周圍ニ民家ガ接近シテ居ッテ非常ナ危険ノアル場合、サウ云フ場合ニハ寺ノ希望デ其位置ヲ完全ナ所ニ移スト云フヤウナコトヲ實行シタコトモアリマス、ソレハ京都ノ愛宕ノ念佛寺デゴザイマス、是ハ市内ニアリマシテ、非常ニ周圍ニ民家ガ接近シマシテ、且又近クニ湯屋ナドガアッテ、頻々ト周圍カラ火災ヲ起スヤウナコトガアリマシタ、ソレハズット嵯峨ノ方デス、嵯峨ノ方ノ山ノ中デス、極メテ安全ナ場所ヘ移轉シマシタ、サウ云フヤウナコトモゴザイマス、併シ保護建造ハ成ベク其位置ニ於テ保存スルノガ本義ニナッテ居リマシテ、容易ニハ保護建造物ハ他

ヘ移轉スルコトヲ許シテ居リマセヌ、ソレデスケレドモサウ云フ火災ノ虞ガアルト云フヤウナ場合ニハ已ムヲ得マセヌノデ、サウ云フ風ニ移轉ヲ許可シタ場合モアルノデゴザイマス、尙下關ノ永福寺デス、永福寺ニ觀音堂ト云フノガアリマス、是モ市内ニアリマシテ、度々周圍カラ火災ヲ受ケテ非常ニ危険デアルノデ、少シ山ノ上ノ安全ナ所ヘ移シタノデス、サウ云フコトガアリマス、是等ハ皆火災ノ虞ノ爲ニサウ云フコトヲ許可シテ居リマス、ソレカラ其他鐵道ノ沿線ナドデ、機關車ノ煙突カラ石炭ノ埃ヲ噴出シマシテサウシテ、火災ヲ起スト云フヤウナ例ガ随分アルノデス、サウ云フヤウニ鐵道ノ沿線ニ沿ウタヤウナ建物ハ檜皮葺トカ柿葺デアッタノヲ瓦葺ニスル、或ハ銅板葺ニスル、或ハ銅板デ包ムト云フヤウナ例モ幾ラモアリマス、サウ云フ風ニ火災ニ付テ相當當局ノ方デモ考ヘテ居リマスケレドモ、法隆寺ノヤウナ、ア、云フ完全ナ設備ハマダ他ニ十分及ボス機會ハナカツタノデゴザイマス、ソレハ非常ニ遺憾トシテ居ル所デゴザイマシテ、將來サウ云フコトガ出來レバ實ニ幸福ト考ヘテ居リマス

○武藤委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ非常ニ御注意ニナッテ居ル點ハ拜承致シマシタ、法隆寺ノ此防火設備ハドノ位費用ガ掛カリマシテ、果シテ其全額ヲ國庫ガ支辨シタモノデアルカ、ソレ等ノ點ニ付テ御話ヲ願ヒタイ

○關野文部省囑託 防火設備ノ全體ノ經費ハ二十九萬五千圓デゴザイマシテ、其中法隆寺ノ負擔ハ五萬圓デゴザイマス、約二十五萬圓ノ補助ヲ致シテ居リマス

○武藤委員 法隆寺ガ五萬圓負擔シタ、國寶タル保護建造物ヲ保存スル上ニ於テ、今日ノヤウナ窮迫シテ居ル寺院ニ迄負擔ヲサセテ、サウシテ之ヲ保存シヤウト云フヤウナコトハ、私ハ實ニ神佛ヲ重ンズルト云フ點カラ言ッテモ甚ダ遺憾デアリマス、當然是ハ國庫カラ全經費ヲ負擔シテ、サウシテ大切ナ保護建造物ハ完全ナ防火設備ヲスルト云フコトガ、私ハ非常ニ必要ナ事ト考ヘマシテ、此本案ヲ委員長カラ議場ヘ報告ニナル場合ニ於テ、若シ皆サンガ御賛成ナラバ、矢張サウ云フ事ニ要スル必要ナ經費ハ、次ノ議會ヘ政府カラシテ豫算ヲ提出セラル、ノ、希望條件トデモ申シマスガ、附帶決議ヲシテ、サウシテ御報告アランコトヲ希望スル意味ニ於テ、御賛同ヲ得タイト考ヘテ此點ヲ申上ゲテ置キマス

○川崎委員 今序デバスカラ、其質問ニ關連シテ伺ヒタイノデスガ、正倉院ノ方ハドウ云フ風ニナッテ居リマスガ、アレハ防火設備ハ無イノデセウカ、尤モ彼處ノ周圍ハ大分隔ッテ居リマスケレドモ、木造デアッテ、サウシテ中々這入ッテ居ル物ハ悉ク大切ナ物デアリマ

ス、勿論此法隆寺ニシテモ大佛殿ニシテモ、東大寺ニシテモ、ソレハ大切ナコトハ大切デセウケレドモ、此建造物自體ヨリハ、中々這入ッテ居ル物デハ、正倉院ガ最モ大切デアリマス、ソレハドウ云フ風ニナッテ居リマス、一寸序デ、スカラ伺ヒタイ

○關野文部省囑託 是ハ宮内省ノ所管デ能ク存ジマセヌケレドモ、私ガ承知シテ居リマス所デハ、矢張正倉院ノ建物ノ周圍ニハ、奈良ニ水道ガ出來マシタ際ニ、十分防火ノ設備ガ出來テ居ルト思ヒマス、其他ニ付テハ多分ソレダケデゴザイマセウ、併シ宮内省ノ方デハ前カラ斯ウ云フ計畫ノアルコトヲ承知シテ居リマス、只今ノ木造ノ藏ノ中ニ保存シテ居ルノハ不安心デアアル、ソレデ第一木造ノ御藏自身モ非常ナ大切ナ物デアアルカラ、防火ノ設備ヲ何トカ考究シナクテハナラヌト云フノデ、色々研究シテ居ラレルコトハ承ハッテ居リマス、一ツノ說デハ、アノ建物ノ周圍ニ絶對耐火ノ建物ヲ作ッテ掩ウテシマウト云フヤウニ、御藏全體ヲ耐火ノ建物トシテ造ッテ掩ウテシマウト云フ考モゴザイマス、ソレカラ他ノ說デハ別ニ耐火耐震ノ建物ヲ造ッテ、其處ヘ品物ヲ皆保存スル、サウシテ安全ニ保護スルト云フヤウナ說モアルガ、何方ガ何方トモ決ッテ居ナイヤウニ承ッテ居リマスガ、兎ニ角ソレニ付テハ前カラ色々苦心シテ研究シテ居ラレルヤウナ

様子デゴザイマス

○福井委員 是ハ本案ヲ議スルニ當リマシテハ、モウ最初カラ政黨政派ニ關係ノナイコトデゴザイマスカラ、政府委員ニ御尋致シタイノデアリマス、只今武藤君ナリ川崎君ニ依リマシテ、特別保護建造物ニ對シテ防火ノ件、即チ法隆寺、吉野神宮、正倉院、東大寺ニ對シテノ防火ノ設備ニ對シテ御質問下サツタコトハ、洵ニ自分ノ郷里ノ建造物トシテ敬意ヲ表スル次第デアリマス、先程モ武藤サンカラ御尋ニナリマシタ如ク、設備ノコトニ付キマシテハ、文部省ハ法隆寺ニ對シテ五萬圓御支出ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、總テ此防火設備ニ對シテハ、御承知ノ通り法隆寺ニ於テハ法隆寺聖德奉贊會、吉野神宮ニハ吉野神宮奉贊會ト云フ風ニ、財團法人ニ依テ總テノ設備ヲ今日セラレテ居ル所ノ現狀デアリマス、此點ニ付テハ此奉贊會ノ如キ團體ヨリモ、進ンデ政府ヨリシテ總テノ御設備ヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ又法隆寺ニ於ケル本堂ノ壁畫デアリマス、壁畫美術ノ世界無比ナコトハ諸君御承知ノ通りデアリマス、之ニ對シテハ政府當局ニ於テハ始終十數年間、此保存ニ付テハ學者ノ御會合ヲ願ヒ、又専門家ノ知識ヲ以テ御保存ヲ願ッテ居リマスガ、未ダ完全ニ保存方法ガ確定シテ居ラヌヤウニ承ッテ居リマス、今日マデ壁畫ニ對シテドウ云フ程度マデ研究ノ結果御保存ニナッテ居

リマスカ、其經過ヲ此機會ニ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○萩野文部省囑託 壁畫ニ付テハ御質問ノ通り、非常ナ貴重ナ物デアリマスカラ鄭重ナル研究ヲ致シテ、専門家ニ長イ間ノ研究ヲ願ッテ居リマス、京都大學ノ近重博士ガ其専門家デアリマシテ、近重氏ガ長イ間非常ナ熱心ナ研究ヲ遂ゲ、漸ク壁畫ヲ固定スル方法ヲ發見セラレテ居ルノデアリマスガ、茲ニ一ツ疑ガアルト云フコトデアリマス、壁畫面ガ此藥液ヲ注入スルコトニ依テ、多少變化ヲ起シハセヌカト云フ疑ヲ持ッ人ガアリマス、第一法隆寺ノ貫主自ラガ其疑ヲ持ッテ居ル、強ヒテ之ヲ施マシテ、萬一色ガ變ッタ時ニドウスルカト云フ懸念ガアリマスノデ、其ノ點ヲ尙研究中デゴザイマス、壁ノ完全ナルコトハ大體確信ガ付イテ居リマス、唯壁面ノ變色スルト云フコトハ幾分懸念ガナイデモナイト云フ一部ノ心配ガアリマス、其點ヲ只今尙續イテ研究シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、御承知ノ通り大變尊イ物デアリマス爲ニ、萬一手ヲ着ケテ少シデモ變ルヤウナコトガアリマスト申譯ガナイカラ、萬全ノ策ヲ講ズル爲ニ尙研究中デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○福井委員 洵ニ御研究下サルコトハ有難イ仕合デアリマスガ、或ハ御說ノ通り色々ノ御研究下サルニ付テハ、相當ノ經費ガ要ルモノト考ヘテ居リマス、ソレデ政府當局ニ置カレマシテハ積極的ニ經費ヲ惜マズ支出ニナッテ、速ニ保存方法ニ御掛リニナル御考デゴザイマセウカ、念ノ爲ニ御伺致シテ置キタイ、次ニ又先程ノ防火事業ニ對シテ、政府ハ奉贊會ト云フサウシタ團體ノ力ニ依ラズシテ、進ンデ政府ガ支出ヲ致シテ下サル、唯努力ヲ致スト云フノミデナクシテ支出ヲウント出シテ、之ニ直ニ掛カルト云フ方針デアアルカ、此機會ニ於テ念ノ爲ニモウ一度伺ッテ置キタイト思ヒマス

○山崎政府委員 福井君ノ御希望ハ御尤デアリマシテ、先刻關野說明委員カラ申上ゲタヤウニ、防火施設ニ對シマシテハ、約三十萬圓ノ中二十五萬圓國庫デ持チマシテ、五萬圓ガ今ノ奉贊會ノ負擔ニナッテ居リマス、併ナガラ武藤サンノ御希望ガアリマシタヤウニ、出來得ベクンバ全額デモ國庫カラ持ッノガ然ルベキモノデアルト考ヘマス、將來ニ於テ色々保存上ノ必要ナコトハ、出來得ル限リ政府トシテハ多ク出スコトニ努力ヲ致シマス

○武藤委員 茲ニ「古社寺保存法」ニ依リテ下付シタル保存金ハ之ヲ本法ニ依リテ交付シタル補助金ト看做スルトアリマスガ從來古社寺ニ下付シテ居リマス所ノ國寶ニ對スル保存金ハ、ドウ云フ割合ニ依テドノ位ノ程度デ御下付ニナッテ居リマスガ、私共ノ承知スル所デハ、可ナリ手薄イヤウニ考ヘラレル

ノデアアルガ、内容ヲ一御示ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○山崎政府委員 從來ノ保存法ニ依テ
保存金ヲ支出致シテ居リマスノハ、必
要ナ經費ノ約半額標準ニ相成ッテ居リ
マス、特別ノ場合ニハ無論ソレ以上ヲ
支出ヲ致シテ居リマスガ、大體ハ半額
デ押ヘテアルヤウデアリマス

○松尾委員 只今山崎政府委員ノ御話
ノ補助ノ方法ハ、今日マデノ保護建造
物ニ對シテノ割合デアリマスガ、今後
モ國寶保存ノ費用ハ、サウ云フ程度ニ
御實行ニナル御考デアリマスガ、其割
合ハ如何デスカ

○山崎政府委員 取敢ヘズ今後十箇年
ノ計畫ニ於キマシテハ、少シ割合ヲ從
來ヨリモ増シマシテ、大體六割ト押ヘ
テ居リマス、物ニ依テハ七割、斯ウ云フ
ヤウナコトデ計算ヲ致シテ居リマス
○眞鍋委員 私ハ今日初メテ出マシ
タノデ、既ニ御説明ニナッタト存ジ
マスガ、武藤サンガ御尋ニナッタノハ、
至極私モ同感デアリマス、一昨年デ
シタカ奥州ノ中尊寺ノ金色堂ヲ見タ
時ニ感ジタノデアリマス、建物其物
ハ既ニ國寶ニナッテ居リマスシ、中ニ
アリマスモノモ洵ニ貴重ナ物許リデア
ルガ、御經ナンカハ洵ニ立派デアアルガ、
箱許リデ中味ノナイノガ多カッタガ、サ
ウ云フモノハ國寶ニシテモドウ云フ按
配ニ検査ヲシテ、其散佚ヲ防イデ居ル
ノデアリマスカ伺ヒタイ、ト同時ニ彼

處ハ水道ガナイ、將來何時引カレルカ
甚ダ覺束ナイヤウナ狀態ノ土地デアリ
マスガ、若シ今日ノヤウナ火事デモア
リマス、國家ニ非常ナ損失デアアル、誰
ガ見マシテモアノ金色堂ヲ見タ人ハ均
シク感歎シテ居ルノデアリマス、アレ
ヲ保存スルノニハ最モ防火設備ガ急務
デアラウト思フ、箇々ノ國寶ナンカヲ
ヤルヨリモ、ア、云フヤウナ建物ヲ保
護スルコトガ非常ニ國家ニ重大關係ヲ
持ッテ居ルノデアリマスガ、武藤サンノ
御發案通り、希望條件トシテ是等ノ點
モ考慮下サルナラバ、私ハ賛成ヲシテ
何トカ早ク彼處ニ防火設備ヲ施サウ
ニ希望スル、前御尋申上ゲマシタ如ク、
國寶トシテ指定ヲシタ以上ハ、當局ハ
ドウ云フ按配ニ調査ヲシテ、是ノ散佚
ヲ防イデ居ラレルノカ、一寸伺ヒタイ

○荻野文部省囑託 調査ヲ致シマシタ
國寶ハ、何枚綴ギガ何巻ト云フコトヲ
明細ニ記載シテ、役所ノ方ニ報告シテ
居ル、時々ソレノ検査ヲヤルト云フコ
トニナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ
モウ一ツ序ニ申上ゲタイ、箱ダケノモ
ノハ古ク高野山ニ寄進シタノデアリマ
ス、古社寺保存法施行前ニ散佚シタ分
モアリマス、國寶トシテ指定シタモノ
ハ散佚シタモノハアリマセヌ
○關野文部省囑託 金色堂ノ防火設備
ニ就テ御尋ガアリマシタガ、洵ニ御尤
ナ次第デゴザイマスガ、只今デハ別ニ
場所ガ山ノ中デ、割合ニ安全ノ場所デ

アル爲ニ、當局トシテハ防火設備ト云
フコトニ就テハ何等致シテ居リマセ
ヌ、併シ將來ハ今御話ノヤウニ雷火或
ハ放火ナドト云フモノガナイトモ言ヘ
マセヌカラ、ソレニ就テハ何トカ防火
ノ方法ヲ講ジナクテハナラヌト云フ風
ニハ考ヘテ居リマス、差當リ周圍ニ池
ヲ作ルトカ、或ハ「ガソリンポンプ」ヲ
備付ケルトカ云フ程度以上ノ設備ヲス
ルト云フコトハ、困難デハナカラウカ
ト考ヘルノデアリマス、其上ノ設備ト
ナルト鐵筋「コンクリート」ノ山門ヲ作
ルト云フコトニナルノデアリマスガ
ラ、ソレハ餘程研究センケレバナラヌ
ト思ヒマス

○山下委員長 モウ御質問ゴザイマセ
ヌカ——ソレデハ質問ハ此程度ニ打切
ルコトニ致シマス、次ハ討論ニ移ル譯
デアリマス、一寸速記ヲ中止シテ下サ
イ
「速記中止」
○山下委員 是カラ開會致シマス
○福井委員 今回政府ノ御提出ニナリ
マシタ法案ハ、洵ニ我國ノ聲價ヲ發揚
スル點カラ致シマシテモ、亦國民精神
作興ノ上カラ致シマシテモ、洵ニ結構
ナ案ト思フノデアリマス、併ナガラ此
條文ニ對シテ一ノ修正動議ヲ提出シテ
賛成ヲ致シタイト思フノデアリマス、
其修正ノ箇條ハ第十四條ノ點デアリマ
ス、第十四條ノ二項トシテ左ノ一項ヲ
加ヘタイト思フノデアリマス、特ニ必

ア要ルトキハ神社又ハ寺院以外ノモノ
ノ所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ
準用ス」斯様ナ修正ノ一項ヲ加ヘタイ
ト思ヒマス、此加ヘマスル理由ハ本條
文ヲ見マスト云フト、從來ノ寺院ノミ
ノ國寶ニ對シテ相當ノ補助ガアリマス
ガ、今回御提案ニナリマシタ條文カラ
考ヘマスルト云フト、個人ノ物或ハ公
共團體ノ物迄モ、國寶ニハ及ボスト云
フコトニ相成ッテ居リマスガ故ニ、公
共團體若クハ個人ノ物ノ修繕ヲスル場
合ニハ相當ノ補助ヲシナケレバナラヌ
ト云フ見地ヨリシテ此修正動議ヲ提出
シテ、本案ヲ全部賛成致シタイト思フ
ノデアリマス、尙ホ希望條件ニ付テハ
他ノ委員諸君ヨリ御話ガアルコト、思
ヒマス

○武藤委員 私ハ先程福井君ガ仰セニ
ナッタヤウニ、是ハ政黨政派ノ問題デハ
ナク、吾々國民トシテ國寶保存ノ上ニ
於テ十分注意研究ヲ要スル問題デアリ
マスカラ、強テ此案ニ強イ反對ヲスル
ト云フ意味デ申上ゲルノデハアリマセ
ヌガ、唯私ノ考ヘル所ダケヲ申上ゲテ
御開置キダケテ願ッテ置キマシテ、強ク
本案ノ通過ニ反對スルト云フ程ノ意味
デナイト云フコトヲ特ニ申上ゲテ置キ
マス、此新ニ提出セラレマシタ國寶保
存法案ヲ見マスト云フト、個人ノ所有
スル美術品ニ對シテモ、政府ハ國寶保
存會ニ諮ッテサウシテ國寶ト指定スル、
其國寶ト指定セラレタ物ハ一箇年間帝

室博物館其他へ出品スル義務ヲ負フ、又許可ヲ得ナケレバ海外へ輸出スルコトハ相成ラヌト斯ウ云フ點ニ付テ、私ノ考ハ政府御提案ノ趣旨ト全然一致シナイ、此御提出ニナリマシタ御趣旨ハ、單リ古社寺ノミナラズ、個人ノ物マデ國寶トシテ保存シテ置キタイ、斯ウ云フ洵ニ行届イタ御考ニ相違ナイト私ハ考へルノデアアルガ、事實ハ之ヲ裏切ラレルト思フ、一體美術品ト云フヤウナモノニ致シマシテモ、如何ナル品物ニ致シマシテモ、必ズ其愛スル所ニ集マルモノデス、若シ日本國民ニシテ古美術品ニ對シテ憧憬心ガ無カタナラバ、何程法律デ之ヲ保護シヤウト思フタ所デ、決シテ保護シ得ルモノデハナカラウト思フ、私ハ最モ古美術ニ對シテノ憧憬心ヲ持ッテ居ル一人デアリマスルガ故ニ、苟モ東京へ參リマスレバ必ズ上野ノ博物館ニ參リマスガ、上野ノ博物館へ參リマシテ、私ガ中デ觀覽スル一人ニ出會フ數ヲ見マスルト、殆ド二人カ三人位、時トスルト一人モナイ、若シ眞ニ日本國民ガ古美術ニ對スル憧憬心ヲ有ッテ居ルモノナラバ、僅カ十錢拂へバ入レルアノ上野ノ博物館ハ、日曜日ナドハ人ガ殆ド肩摩轂擊デナケレバナラス、然ルニドウモ毎年ノ美術展覽會ナドへ行クト、子供ヲ負フタ子守マデ五十錢カ知ラヌ高イ切符ヲ買ッテ入ッテ居ル、中ハ殆ド歩ケヌ位デアアル、緣日ノヤウナ狀況ヲ呈スル、是ガ即チ

私ハ古美術ニ對スル根本問題デヤナカラウト思フ、先年私ハ紐育ニ參リマシテ、紐育ノ美術館ヲ見マシタ所ガ、紐育デハ一週間ニ一回ハ労働者ナドノ爲ニ無料デ入レテ居ル、所ガ其無料ノ日ハ勿論、普段ノ日デモ紐育ノ美術館ト云フモノハ非常ナ觀覽者デアアル、サウシテ其觀覽者ノ中ニハ中々多數ノ労働者ヤ又中産ノ人ガ多イ、所ガ日本ノ今日ノ現狀ヲ見マスルト、古美術ニ對スル國民ノ憧憬心ト云フモノガ非常ニ薄ライデ居ル、唯案ニ現代式ナモノニ傾イテ居ルト云フノガ今日ノ現狀デアリマシテ、如何ナル古美術品ト雖モ斯ウ云フ國民ノ現狀ノ中デハ、私ハ完全ニ保存サレマイト思フ、此點ニ付テハ文部省ハ法律デ以テ之ヲ維持シヤウト云フ風ニ出發セラレテ居ルト云フコトハ、私ハ其目的ヲ達スル所以デナイ、寧ろ矢張國民ノ古美術ニ對スル理解、之ヲ能ク徹底スルヤウニ教育ニ努力シナケレバナラヌト思フ、元來一國ノ美術品ト云フモノハ工藝品ノ源泉ニナッテ居ル、古美術ヲ尊バナイ國ニ工藝品ガ發達スル例シガナイ、日本ハ却ッテ徳川時分ニ於テ立派ナ工藝品ガ出來タ、所ガ明治維新以來國民ガ古美術ニ對スル憧憬心ガナクナッテ、甚シキハ寺ヲ破壊シタリ古美術品ヲ亂暴ナ扱ヲシテ、サウシテ今日ノヤウナ狀態ニナッテ仕舞ッタ爲ニ、西陣ノヤウナ立派ナ工藝品ヲ拵ヘルコトガ衰ヘテ、唯大量生産デ

一日々々サウ云フヤウナ大切ナル日本ノ最モ尊イ、最モ世界ニ於テ輸出品トシテ價值ヲ有スルヤウナ、佛蘭西ノ品物ト同ジヤウナ工藝品ト云フモノガ少ナクナッタノハ、是ハ古美術ト云フモノニ對スル國民ノ憧憬心ガナクナッタカラダト思フ、之ニ對シテハ文部省ハ相當責任ヲ有セラレナケレバナラヌ、學校ノ教育其他皆誤ッテ居ル、何カ古美術ヲ道樂ノヤウニ教ヘテ居ル、ソコデ斯ウ云フ結果ヲ生ジタノデ、此處ニ周章テ、國寶保存法案ナドヲ出シテ、サウシテ古社寺ノ品物ヲ拘束スル許リデナク、一步進ンデ個人ノ物マデ國寶トシテ、サウシテ之ヲ拘束シテ國寶保存ノ目的ヲ達セラレル、斯ウ云フヤウナコトヲ企テラレマスケレドモ、私ハ此結果ト云フモノハ、非常ニ惡イ結果ヲ來タスト思フ、一體日本人ト云フモノト西洋人ト云フモノトハ、古美術品ニ對スル考ガ全然違ッテ居ル、之ヲ今日ノ世界的ノ思想ニ依テ、成ベク多勢ニ見セナケレバナラヌト云フノデ、法律デ強ヒラレルト云フコトハ、成程現代思想トシテハ或ル部分ニハ賛成ガアルダラウト思フ、併シ靜ニ考ヘテ見マスルト、詰リ日本國民ガ古美術品ヲ保存スルト言フコトハ、自分ガ個人トシテモ之ヲ愛藏シテ居ルト云フ所ニ在ル、之ヲ一々政府ガ法律ノ力ニ依テ貴様ノ所ノ分モ國寶ニ登錄シテ置ケト云フヤウナコトヲ段々法律ガ出來レバ、

必ズ其範圍ヲ擴メラレルト云フコトハ、古社寺ノ實際ノ國寶ノ指定ニ依テモ明カダト考ヘマスガ、遂ニハ私ハ、個人ガ斯ウ云フ物ヲ持ッテ居ッテハ迎モ敵ハヌカラ、早ク法律ヲ作ラレナイ中ニ海外へ賣飛バシテシマヘト云フコトニナリ、寧ろ古美術ニ對スル尊重心、愛藏心、此日本國民ノ個人ノ間ニ非常ニ尊ク、漲ッテ居ル此心ト云フモノヲ、傷ツケラレルモノデアルト思フ、コンナ方法デ文部省ガ國寶保存ノ手段ニ出デラレタト云フコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ思ヒマス、文部省トシテハ斯ウ云フコトヲ爲サルヨリモ——個人ニ對シテハ今日デモサウデスガ、博覽會或ハ美術展覽會等ニ出品シロト言ハレ、バ、大抵ノ個人ハ喜ンデ出品ニ應ジテ居ル、之ヲ法律デ以テ一箇年間義務デ貴様ノ所ノモノヲ出セト斯ウ云フコトハ、非常ニ不快ノ念ヲ與ヘル、サウシテ又或ル所ノ物ハ國寶ダト斯ウ言ヘバ、或ル所ノ物ハ國寶ニナラナイト云ウヤウナ、一ツノ誤解ヲ發生スル、是ハ私ハ國寶保存法案デナシニ寧ろ國寶保存ヲ妨害スル所ノ一ツノ案ダト考ヘマス、私ハサウ云フヤウナ考カラ、寧ろ個人ノ物ニ對シテハ本人ガ同意ヲスルカ、或ハ本人ガ希望スルト云フ場合ノミニ限ッテ、此法律ヲ當嵌メルト云フ風ニ修正ヲ爲サツタナラバ、非常ニ宜カラウト考ヘテ居ル、故ニ前回ノ委員會ニ於テモ此事ヲ申上ゲタヤウナ次第デアリマ

シテ、何カ之ニ反對致シマスルト、兎角現代ノ思想ニ反スルヤウニ誤解ガアルカモ知レマセヌガ、私ハ此法案ト云フモノハ、詰リ誤ッタ現代思想ニ囚ハレテ、日本國民ノ間ニ千何百年來漲ッテ居ル所ノ個人ノ美術ニ對スル憧憬心、又極メテ少數ノ人々ノ其憧憬心ガ今日マデ古美術ヲ保存シタモノト思フ、古社寺トカ云フヤウナモノハ別デアリマスケレドモ、個人ト云フモノハ全ク其憧憬心ノ爲ニ今日マデ國家ニ代ッテ保存シテ來タト私ハ思フ、斯ウ云フ國民ニ向ッテ、法律デ以テ斯ノ如キ規定ヲ御設ケニナルコトハ、私ハ實ニドウモ文部省ノヤウナ所デサヘ、斯ナ法案ヲ出サレルト云フコトハ、單リ此問題バカリデハナイ、日本ノ國家ノ將來ノ爲ニ非常ニ憂フルモノデアリマス、私ハ大正八年ニ「ポストン」ニ行ッタ時ニ、銀行家ニ招カレテ晚餐會ニ臨ンダコトガアル、其時ニ私ハ或銀行家ニ、貴方ノ國ハ偉イ、法律ヲ以テ酒ヲ飲ムト云フコトヲ禁ジラレタ、自分ノ國ナンカデハ決シテソシナコトハ行ハレヌト言ウテ非常ナ御世辭ヲ言ウテ見タ所ガ、其人ハ手ヲ振ッテ、ソレハ大體間違ッテ居ル、酒ヲ飲ムト云フコトヲ教ヘルノダ、結局法律ヲ以テ酒ヲ飲マサヌト云フヤウナ、サウ云フ弱イ國民ハイカヌ、自分等ハ反對ダト斯ウ言ハレタ、是ハ私ハ實ニ吾々トシテハ考ヘナケレバナラヌコトデハナイカト思フ、日本デハ何デモ

法律デス、何デモ法律ノ力ヲ以テ總テガ出來ルヤウニ考ヘラレマスケレドモ、此古美術ノ如キモノガ法律ノ力ニ依テ保存サレルモノダト、斯ウ云フコトヲ考ヘテ、サウシテ斯ノ如キ法案ガ、一番國民思想ヲ善導サレナケレバナラヌ文部省ガ、法律ノ力ニ依テセナケレバナラヌト云フ考カラ出サレタト云フコトハ、實ニ國家ノ爲ニ吾々ハ洵ニ憂ヘナケレバナラヌ一ツノ現象ニ、此處ニ出會ッタト私ハ思フ、此意味ニ於テ國寶保存法案ニ反對スル私ノ考ダケヲ申上グルノデアリマシテ、私ハ強ヒテ此法案ハ皆様ガ御賛成ノヤウデスカラ、其通過ヲ妨ゲルト云フ意味デ申上ゲテ居ルノデナイノデアリマス

○山下委員長 武藤サン此希望條項ハドウシマス

○武藤委員 此案ガ通ルトスレバ、希望條項ハ勿論私ノ發案デスカラ、其希望條件ヲ附セラレテ、サウシテ保護建造物ノ方ハ速ニ設備ヲ完全ニヤッテ戴キタイト思ヒマス

○山下委員長 附帶決議トシテハスカ、希望條件トシテハスカ

○武藤委員 附帶決議ニシタイノデス

○山下委員長 ソレハドチラデモ貴方ノ御意見デ——

○武藤委員 私ハ附帶決議トシタイト思ヒマス、併シ附帶決議ガイカヌトスレバ、希望ト云フコトニシタイノデス、ソレハ御意見ニ從ヒマス

○山下委員長 希望デスネ——川崎君

○川崎委員 私ハ今回御提出ニナリマシタ國寶保存法ノ趣旨ニ對シテ、大體賛成スルモノデアリマス、此法令ノ由テ來ッダ點ハ、第三條ノ國寶ハ海外ニ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ防グト云フ趣旨ニ根本ヲ置カレテ居ルノデアッテ、從來ノ神社及寺院ニ關スルモノハ、從來ノ規定ニ依テヤッタノデアルガ、個人ノモノハ國寶ニ這入ラヌカラ、今度ハ個人ノ物、公共團體ノ物モ共ニ國寶保存ノ規定ニ依テ、之ヲ海外ニ輸出又ハ移出スルコトヲ防グト云フ精神ニ在ルノデアリマス、私ハ大體其趣旨デ賛成スルモノデアリマス、今武藤サンノ御話ハ是モ一應御尤ナ御議論デアリマサルガ、私ハ又少シ見方ヲ異ニシテ居リマス、尤モ此美術品ニ對スル愛玩心ト云フモノハ、是ハ法律ヤ規則デ決メラレルモノデナイコトハ言フヲ俟タヌ、ソレハ其人ノ嗜好ニ屬シ、其人ノ心ノ反映スルモノデアルカラ、法律ノ力ヲ以テ之ヲドウスルコトモ出來ヌコトハ言フヲ俟タヌ、併ナガラ國トシテノ立場ノ上カラ言ヘバ、法律ヲ以テ大體嚮フ所ヲ示スト云フ必要ガアルト思フ、海外ヘノ輸出ヲ防グト云フコトハ美術ノ模範トナリ、又ハ歴史ノ證據トナルベキモノデアッテ、國ニ殘サナケレバナラヌ物ハ法律ノ力ニ依テ防グルダケハ防グ、サウ云フ心持ノアル所ヲ示スト云フコトハ、政府ノ立場トシテ當然デ

アルト思フ、古美術品ニ對スル愛玩心ノ乏シイコトハ御説ノ通りデアリマスカ、古美術品ヲ所有スル者ハ、今マデノヤウナ社會ノ狀態ガ急激ナ流ノナイ時代デアレバ宜シイガ、今後ノ世ノ中ノ流ハ非常ニ急デアル爲ニ、此美術品ヲ所有スル者ハ殆ド一代ヲ限ラレテ居ルニ、二代、三代トハ持切レヌト云フ傾向ニ今日ハナッテ居ル、先代ノ人ノ愛玩シタ書畫又ハ工藝品ハ、其次ノ人ガ同ジヤウナ嗜好ヲ持ッテ居ルカト云フト持ッテ居ナイ、持ッテ居ナイガ爲ニ、國寶ニ類スル繪畫及工藝品ハ、相續者ハ三文ノ價值モナイヤウニ思ッテ買却スルト云フヤウナ實例ガ、近時頻々トシテアル、是ガ流レ流レテ何處ニ行クカ分ラヌ、私共自分ノ嗜好シテ居ル陶器ノ方デ申シマスルト、私共ノ眼デ見レバ國寶ニ類スル物モ、世間ノ人ハ殆ド——萬人ノ中九千九百九十人マデ知ラナイ、國寶ニ類スル物デモ、モウ陶器ナドニ至ルト、マルデ専門的ノ者シカ知ラナイ、是ハ國寶物ダト云フコトニ格付ヲサレルト、斯ウ云フ物ガ國寶ダカラト云フ概念ヲソコニ植付ケルコトガ出來ル、國寶デナケレバ尊ミヲ感ズルコトハ出來ナイ、意識スルコトガ出來ナイ、美術ヲ愛玩スル標準ガ何處ニアルト云フコトヲ知ラヌト云フコトガ、法制ノ力デ或程度マデ示ス必要ガアル、ソレヲ知ラザルハ國寶デ、是ハ尊イ物デアラウカト云フ感ジヲ以テ、其感

ジヲ持ツコトガ、藝術愛好ノ精神ニ慣サレテ來テ、愛ニ萌芽ガ植付ケラレ、美術心ヲ開拓サレル譯デアリマスカラ、ドウシテモサウ言ッテヤウナ道開ケラスルコトガ、政府トシテ必要ナコトデアル、尤モ弊害ト云フモノガソレニ生ジテ參リマスルケレドモ、其必要ハアルト思フ、政府ノ役人ガ國寶ヲ決メルニ當ッテ、之ヲ選擇スル政府ノ役人ナドハ分ラヌデハナイカ、御尤デアル、私ハ政府ノ人ニハ分ラヌ人多イト思フガ、是ハ國寶保存會ニ於テ好事家ヲ集メテ鑑識サセレバ大體國寶ニ當嵌マル物ハ好事家ニ依テ選擇セラル、デアラウ、其選擇ノ仕方ハ餘程ムヅカシイ問題デアッテ言ウニ易クシテ行フニ困難ノコトデアリマスカラ、是ハ政府ノ力ト民間有識者ノ力ト相俟ッテ之ヲ保存シテ行ク又尤モ政府ノ力デ美術ト云フモノハ發達シタモノデハナイト云フヤウナ御話モアリマシタガ、併シ日本ノ歴史ハ必シモサウデハナイト思フ、茶道ノ發達シタノハ足利義政時代、ソレカラ下ッテハ豐臣時代デアル、武藤サンモ御承知ノ通り、アノ時代ハ一國一城ヲ貫フヨリモ、茶器ヲ貫ッテ方ガ貴イト云フ觀念ヲ與ヘタノハ全ク政府ノ力デア、政府ヲ握ッテ居ル權力者ハ御前ニ一城ヲヤルヨリハ此茶入ヲヤッタ方ガ貴イト云フノデ、天下舉ゲテ茶入ヲ貴フコトヲ貴ンダト云フ一世ノ風潮ヲ導イタモノハ、矢張其當時ノ權力者ガサ

ウ云フ嗜好ヲ導イタ爲ニ茶道ガ盛ニナリ、美術品ノ愛好ガ盛ニナッタ、サウ云フコトガ日本ノ美術保存ノ上ニ非常ニ力トナッタト思フ、今度ノ企モ必シモソレニ類似スルモノデハアリマセヌケレドモ、政府ノヤラウトスル心持ガ、矢張サウ言ッテ心持デアルト云フ感ジヲ持ッテ居リマスガ、其考方ハ間違ッテハ居ナイ、成程此法律ノ規定ニ依テ所有權ノ一部制限ヲ受ケマス、所有權ノ一部制限ハ受ケマスケレドモ、必シモ此國寶ニ限ッタモノデナクテ、日本ノ法制ノ中ニハ所有權ノ一部制限ヲ受ケルモノハ多々アル、所謂其一部所有權ノ制限ナルモノハ法律上ノ言葉デ言ヘバ法益ヲ保護スルコト云フコトデア、法益ヲ保護スルコト云フコトハ美術品ノ模範トナルベキヤウナ物ハ保護スル、其法益ノ上ニ法律ヲ置イテ、其所有權ノ一部制限ガ起ルト云フ立前ニナッテ居ルモノデアルト思フ、固ヨリ此制限ノ程度ハ非常ニ苛酷デアレバ、是ハ法律問題ニナリマスガ、此程度デアレバ、非常ナ所有權ノ制限ニモナルマイト思フ、併ナガラ所有權ノ一部制限ヲ置キナガラ、他ニ何等反對ノ給付ヲシナイト云フ法制ノ立前ハ宜クナイ、是ニ於テカ神社及寺院等ニ對シテノ補助金ヲ出スノニ、個人ニ出サスト云フノハイケナイ、若シ法制上ノ理論カラ言ヘバ一部ニ制限ヲ置キナガラ、他ニ補助ヲシナイ、是ハ立法ガ間違ッテ居ッテ改メナケレバナ

ラスト思フ、是ガ修正意見ノ出ルコトハ當然デ、寧ロ私ハ此修正意見ハ準用規定デナク、本當ノ立前デ、個人所有モ公共團體所有モ、區別ヲ置カスト云フコトニシタ方宜クハナイカト思フ位デアリマス、大體ノ趣意ニ於テ私共ハ同意ヲ致シマスガ、是カラ生ズル弊害ニ付テハ私ハ武藤サンノ御言葉通りノ考ヲ持ッテ居ル、國寶ニセラレテ、國寶ニナッテ居ル本物ガ他ヘ逃ゲテ行ッテ、贋物ガ日本ニ殘ルト云フ例ハ、是ハ頻頻起リハシナイカ、非常ナ弊害ガ之ニ依テ起リハシナイカ、尤モ美術ト云フモノハ愛玩心ノアル所ニ寄ルノデアリマスガ、一面ニ於テハ財物アル所ニモ寄ル、東京ニ集マル品物ト大阪ニ集マル品物トハ、大體品物ノ向キハ違ヒマスケレドモ、東京大阪ニ集マル品物ハ宜シイガ、モウ下ッテ名古屋邊リニナリマス品物ハ總テノ上ニ於テ落ちテ來ル、繪畫ニシテモ工藝品ニシテモ、餘程二番物シカ出ナイ、ソレダケノモノヲ消化スル財力ヲ持タナイ、矢張財力ヲ持ッテ所ニハ此美術品ヲ貯藏スル消化力ヲ持ッテ居ル、是ハ自然ノ勢デア、之ニ制セラレテ日本ガ今日經濟的ニ相當カラ持ッテ居ル間ハ宜シイケレドモ、サウデナイ場合ハ他ニ流レテ行ク虞ハ多分ニアル、其場合ハ是ハ國寶ニ規定セラレテ、其規定ノ寶物ガ贋物ニ變ルト云フ、恰度支那デ現在支那ノ名家ノ所有スル品物ハ殆ド贋物デア、摺變

ヘラレタト云フ問題ガ起ッテ來ルノモソレデ、殊ニ神社寺院等ニ於テハソレガ起ル、前ノ保存會ノ規定ニハ之ヲ摺變ヘタ場合ニハドウスルト云フヤウナ規定ガアッタガ、今日ハ是ガナクナッテ居リマスガ、是ハ何カ法制上ノ考デ無クサレタモノデアラウト思フ、一般刑法ノ規定ニ依テ其方ハ防ゲルカラト云フノデ、是ハ除イタモノデアラウト思ヒマスガ、サウ云フモノハ頻々トシテ起ッテ來ルト思フ、之ヲ防グニハドウシタラ宜イカト云フコトニナリマス、是ハ餘程重大ナ問題ニ逢著シテ參ルダラウト思フ、其先ニナルト心配スベキ點ガ多々アルノデアリマシテ、殊ニ建造物ノ如キハ今武藤サンノ御話ノアリマシタ通り、是ハドウシテモ防火設備ヲ十分ニシナケレバナラスト云フコトニナレバ多分ノ費用ガ要ル、此多分ノ費用ヲ出シテモ、是ハ國寶トシテ指定シタ以上ハ保護シテ行カナケレバナラストコトニナルト思フ、又ナッテ然ルベキモノデアルト思ヒマス、唯豫算ノ上ニ於テ此保護建造物、今ノ國寶ニ依ル建物ニ防火設備ヲスルコトハ出來ルカモ知レマセヌガ、只今私ノ懸念ニ堪ヘナイ爲ニ伺ッテ正倉院ノ如キハ宮内省ノ管轄デアリマスカラ、此法令ニ依テ支配ヲ受ケナイコトニナッテ居ル、サウスルト折角希望條件ヲ付セラレマシテモ、正倉院ノ御藏ニアル物ハ此保護ヲ受ケナイコトニナル、此方ガ私ハ餘程危險デア、今カラ千年以上ノ古美術品ノ標本

ト云フモノハ、皆正倉院ニ納メラレテアリマスカラ、若モ火事ニデモ遭フヤウナコトガアルト、大變ナ事デアアル、是ハ實ニ容易ナラザルコトデアアル、之ヲ防グニ付テハ、先程政府委員ノ御話モアリマシタ通り、今ノ所デ濕氣ヲ防グ方法ハ出來テ居ル、併ナガラ防火設備ハ出來テ居ナイ、防火ト防濕トハ全ク反對ノ作用デアアルト云フ、是ハ尤モノコトデアアル、私モ左様ニ思ヒマスガ、是ハ何トカシテ此防火設備ヲ是非共急イデヤツテ戴キタイト思フ、此意見ヲ附シマシテ此案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス

○村松委員 私モ大體ニ於テ本案ニハ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマスガ、ソレニ付キマシテ第三條ニ關聯シテ、茲ニ希望ヲ述ベテ置キタイ、ソレハ我國ノ國寶ガ海外ニ流出スルコトヲ防グ爲ニ、今後ノコトハ第三條ニ規定サレテ居ルノデ、先ヅ相當取止メルコトガ出來ルト信ジテ居リマスガ、今日マデニ海外ニ流出シタル國寶の美術品ノ回收ニ付テハ、過日ノ山崎政務次官ノ御話ニ依リマシテモ、單ニ我國ノ富豪ニ依頼シテ買取ツテ貰フト云フ事以外ニハ、別ニ何等ノ方法モナイト云フコトデゴザイマスガ、或ル場合ニ於キマシテハ、間髪ヲ容レズト云フ間ニ甲カラ乙ニ轉轉シテ、肝腎ノ機會ヲ失フト云フコトモ屢アルヤウニ聞イテ居リマス、ソレガ爲メ大切ナ、我國ニ關係ノ深イ古美術品ヲ逸シテシマフト云フノハ遺憾ナコトデアアル、各國ノ博物館ヲ見マシテモ、我國ノ大切ナ、結構ナ美術品ガ多數陳列シテアルノヲ見ルト、如何ニモ遺憾ニ堪ヘナイ、而シテ前回ニモ申上ゲタ通り、博物館等ニ在ル物ハ到底回收ノ機會ハ無イカモ知レマセヌガ、個人ノ手許ニモ相當良イ物ガアルト思フ、サウ云フ物ハ出來得ル限り之ヲ回收スル方法ヲ講ジナケレバナルマイト思フ、聞ク所ニ依レバ外國ノ政府デハ、其國ニ由緒ノアル國寶ハ、數十萬圓數百萬圓ノ金ヲ出シマシテ之ヲ回收シテ居ルト云フコトデゴザイマス、然ルニ我國ニ於テハ之ニ關シテ何等ノ方法モ無イト云フコトハ、甚ダ遺憾ニ思ヒマス、仍テ政府ハ之ニ對シテ相當御考慮ヲ致サレ、何等カノ具體的方法ヲ、近キ將來ニ立テラレンコトヲ望ム、斯ウ云フ希望條件ヲ附シテ賛成ノ意ヲ表シマス

○山下委員長 モウアリマセヌカ、ソレデハ討論ニ移リマス、ドウシマセウ、是ハ政黨政派ヲ超越シテ居リマスカラ、今日決定シテモ宜イデセウ

〔「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ〕

○山下委員長 ソレデハ第十四條ノ第二項ニ「特ニ必要アルトキハ神社又ハ寺院以外ノ者ノ所有ニ屬スル國寶ニ付前項ノ規定ヲ準用ス」此修正ガアルノデス、ソレカラ武藤君ノ希望決議ガアリマス「國寶中貴重ナル保護建造物ニ

對シテハ政府ハ次ノ議會ニ提出スル豫算中ニ必要ナル經費ヲ計上シ完全ナル防火設備ヲ施行セラレムコトヲ望ム」此附帶希望決議ト、第十四條ノ修正トヲ加ヘ、他ハ全體原案ニ御賛成ト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○山下委員長 ソレデハ滿場一致デ可決致シマシタ、ドウモ御苦勞様デシタ、是ニテ散會致シマス

午後零時十五分散會